

全苗連だより

Vol. 27 (10月号)

平成28年10月26日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

全苗連生産者の集い 静岡で盛大に開催されました

55名を表彰・意見発表及びパネルディスカッション・決議文の採択などを実施

『平成28年度全苗連生産者の集い』が10月13日(木)から14日(金)の二日間、静岡県伊豆の国市をメイン会場に盛大に開催されました。

開催に当たり、ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げ、その内容を次のとおり報告いたします。

なお、開会に先立ちまして、伊豆長岡の芸妓さん等による静岡の銘茶と温泉まんじゅうによるおもてなしや伊豆の国音頭等地元の舞踊が披露されました。伊豆の国市の皆様の温かなお心遣いに改めまして感謝申し上げます。

【生産者の集い】(初日の10月13日開催)

伊豆の国市の「長岡総合会館アクシスカつらぎ」のホールに311名が参加し、橋本和男静岡県山林種苗協同組合連合会会長が開会のことばを述べ、岸紘治全苗連会長、静岡県知事、伊豆の国市市長の挨拶に続き、今井敏林野庁長官、佐藤重芳全国森林組合連合会会長から祝辞を受けた後、全国山林苗畑品評会・山林種苗等生産事業功労者・永年勤続常勤役員等の表彰が行われ、55名の方が表彰されました(表彰者名は[別添1]参照)。受賞者を代表して、全国山林苗畑品評会で農林水産大臣賞を受賞された静岡県の富士種苗組合共同生産チーム代表佐野芳弘さんが謝辞を述べました。

第2部は、「苗木生産の明るい未来を語ろう」をテーマにして生産者の意見発表並びにパネルディスカッションが行われました。発表者は、齋藤豊彦氏(宮城県苗組)、石川政道氏(栃木県苗組)、前田臣代氏(愛知県苗組)、新田達也氏(徳島県苗組)、羽田誠次氏(熊本県苗組)です。パネラーとして、松永彦次氏(静岡森林管理署長)、佐藤重芳氏(全森連会長)、岡本均氏(静岡県森連副会長)、太田清藏氏(宮城県苗組、前全苗連会長)、松野公一氏(静岡県苗組)が登壇され、コーディネーターは今永正文氏((一社)日本環境NPOネットワーク事務局長)が務められました。そして、生産者の現状、抱える問題点、後継者対策等々生の声が発信され、活発な議論が展開されました。

次に、全国の苗木生産者が一堂に会したことを一層有意義なものとし、関係方面に広くアピールしていくために、生産者の集いの決議文の採択が行われ、満場一致で採択されました。([別添2])

続いて、次期開催地の福岡県から栗原渉福岡県樹苗農業協同組合組合長の挨拶があり、静岡県山林種苗協同組合連合会橋本和男会長から栗原組合長に握手をもって引継ぎがありました。

最後に、全苗連富澤修一副会長より閉会のことばがあり、平成28年度全苗連生産者の集いは盛会裏に終了しました。

また、同日午後6時から、沢山のご来賓にも出席していただき、「伊豆長岡温泉 HOTEL 天坊」で懇親会が和やかに開催されました。

【全苗連生産者の集い・視察旅行(静岡県内)】 (翌日の10月14日に実施)

世界に知られた日本の象徴でもある富士山並びに近代史のモニュメントとも言える韮山反射炉という二つの世界遺産に代表されるように、悠久の自然、自然にも由来する文化、そして長く重ねられた歴史によって、比類のない価値を持つ景観や名勝や地域文化資産を生み出してきた静岡県内を視察しました。

[別添 1]

平成 27年度 全国山林苗畑品評会 受賞者名簿

【農林水産大臣賞】 (6名) 注1;順不同 注2:*コンテナ苗(以下同)

齋藤 豊彦 様 (宮城県)* 橋本 健一 様 (山形県) 大森 龍一 様 (茨城県)
善林 司 様 (栃木県)* 富士種苗組合共同生産チーム様(静岡県) 穴井 豊水 様 (大分県)*

【林野庁長官賞】 (18名)

有限会社 岸苗畑 様(北海道)* 有限会社 リョクシン 様(北海道) 横田 幸介 様 (岩手県)*
伊東 毅 様 (秋田県)* 古川 一男 様 (福島県) 飛田 正美 様 (茨城県)
上野 一広 様 (栃木県)* 鵜飼 薫 様 (三重県) 南裏 勝三 様 (奈良県)
細川 努 様 (岡山県)* 多田 哲夫 様 (広島県)* 宮川 遠一 様 (広島県)
片岡 兼雄 様 (山口県) 成瀬 要三 様 (愛媛県)* 公文 延晴 様 (高知県)
平川 親義 様 (熊本県) 穴井 俊一朗 様 (大分県) 佐伯 太 様 (宮崎県)

【全苗連会長賞】 (8名)

菅野 弘之 様 (岩手県) 伊東 毅 様 (秋田県) 松下 好 様 (群馬県)
井内 優 様 (和歌山県) 倉見 明人 様 (鳥取県) 難波 芳英 様 (岡山県)
古賀 直廣 様 (福岡県) 吉留 正信 様 (鹿児島県)

平成 27年度 山林種苗等生産事業功労者 受賞者名簿

【林野庁長官賞】 (8名) 注;順不同(以下同)

竹内 一秋 様 (北海道) 大森 茂男 様 (岩手県) 浦野 忠雄 様 (長野県)
大石 正志 様 (静岡県) 細東 正明 様 (和歌山県) 武知 明 様 (愛媛県)
熊本 廣文 様 (福岡県) 山口 貞義 様 (佐賀県)

【全苗連会長賞】（12名）

古瀬 清一郎 様（北海道）	本宮 直人 様（岩手県）	三浦 惣弘 様（秋田県）
上野 久雄 様（栃木県）	望月 光彦 様（山梨県）	柏木 輝利 様（静岡県）
小野山 俊春 様（兵庫県）	古本 光人 様（広島県）	宇高 勇 様（愛媛県）
野口 広孝 様（福岡県）	小村 仁 様（熊本県）	姫野 孝一 様（大分県）

平成27年度 永年勤続常勤役員表彰 受賞者名簿

【全苗連会長賞】（3名）

厚谷 晃基 様（北海道）	高橋 正尚 様（北海道）	上杉 英子 様（北海道）
--------------	--------------	--------------

[別添2]

***** 苗連生産者の集い決議 *****

我々全苗連の苗木生産者は、長きにわたって苗木需要量が減少し続けるという厳しい経営環境を強いられながらも、過疎高齢化が進む山間地域にあって、営々と苗木生産を続け、安定供給の大きな使命を果たしてきた。

最近の森林林業を取り巻く状況は、伐採量が増加傾向にあることから、苗木需要量が急増すると見込まれる中で、花粉症対策苗木の供給拡大や林業の一貫作業システムの推進のためのコンテナ苗増産への期待が高まっている。

このような状況を踏まえ、我々全苗連の苗木生産者は、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質の保証された苗木を安定的に供給していくことに大きな使命感を持ち、会員が連携して対応していく所存である。

我々全苗連の苗木生産者は、本日ここに次の事項を決議し、関係機関等へ意見具申を行い、関連施策の展開と実現について強く要望する。

- 一 行政機関による苗木需給量の見通し及び需給調整機能の充実並びに苗木の予約生産・販売体制の構築
- 一 苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立
- 一 コンテナ苗生産に適した品種の開発並びにコンテナ苗生産を質量ともに向上させるための技術開発の更なる推進
- 一 林業の一貫作業システムに不可欠であるコンテナ苗の供給体制を早期に確立するためのコンテナ苗生産施設整備助成措置の大幅な前倒し実施

平成28年10月13日

平成28年度全苗連生産者の集い

宮城県の齋藤豊彦氏が第55回農林水産祭において 日本農林漁業振興会長賞を受賞されました

齋藤豊彦様におかれましては、全苗連主催の苗畑品評会において農林水産大臣賞を受賞され、「全苗連生産者の集い」の式典会場で賞状の授与が行われたところですが、この度、第55回農林水産祭において日本農林漁業振興会長賞を受賞されることとなりました。重ねましての受賞に、こころよりお祝い申し上げます。

なお、賞状の授与は、11月23日(水)明治神宮会館において開催される「第55回農林水産祭」の式典会場で行われます

全苗連・苗組の行事予定

- ～H29.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会 ②コンテナ苗生産新規参入者を対象とした研修会 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導等 実施者;該当道県苗組
- 11月 8日 東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給調整協議会(三重県合同ビル)
 - 11月 8日 全苗連関東地区協議会(山梨県甲府市)
 - 11月11日 全国森林組合代表者大会(東京都 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー)
 - 11月15日 九州地区林業用種苗需給調整協議会(鹿児島市勤労者交流センター)
 - 11月16日 九州苗連協議会総会(ホテル ウェルビューかごしま)
 - 11月17日 近畿地区林業用優良種苗需給調整協議会(奈良県文化会館)
 - 11月23日 第55回農林水産祭(明治神宮会館)
 - 11月25日 林政懇談会(林業関係8団体・会長は全国森林組合連合会会長)(東京都 砂防会館)
 - 11月28日 中国地区林業用種苗需給調整協議会(兵庫県民会館)
 - 11月28日 中国地区山林種苗組合協議会(ホテル北野プラザ六甲荘)
 - 11月29日 中国地区山林種苗組合現地見学(淡路樹苗生産組合苗畑)
 - 12月19日 四国地区林業用種苗需給調整協議会(徳島ワシントンホテルプラザ)
 - 12月20日 四国地区林業用種苗現地研修会(徳島県立農林水産総合技術支援センター)

